

2

山田さんの学級では、伝統工芸品についてすいせんするちらしを書くことにしました。山田さんは、手ぬぐいのよさについてすいせんする文章を、次の「ちらし」に書いています。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

手ぬぐい



手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。
そのよさとは、どのようなものでしょう。

よさ1 もよう

さまざまなもようがあり、すきなもようを選ぶことができます。おくり物としてもぴったりです。



季節を感じるもよう

手ぬぐいには、植物や風景をもとにしたもようがあります。季節に合わせて手ぬぐいを選ぶことができます。



しゅみやすきなものに合わせたもよう

スポーツや音楽などに関係するもようの手ぬぐいもあります。相手のアこのみに合わせて、もようを選び、おくることができます。

よさ2 使い方

手などをふくだけではなく、身に着けたり、物を包んだりすることもできます。

身に着ける使い方

伊あつい日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。また、外で作業をするときに頭にかぶると、あせをきゅうしゅうし、両手が空くので仕事がしやすくなります。

物を包む使い方

手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。

このように、手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。
みなさんもぜひ使ってみてください。

一【ちらし】

山田さんは、文章の構成をくふうして「ちらし」を書いていきます。山田さんが文章の構成をどのようにくふうしているかを説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 読んでほしい順序を明確にして、時間の流れに沿って書いている。

2 伝えたいことの中心を明確にして、内容のまとまりごとに分けて書いている。

3 文章の筋道が整うように、原因と結果を明らかにして書いている。

4 読み手の目的に応じて読めるように、使い方の手順に沿って書いている。

解答らん

二 山田さんは、



の中で、手ぬぐいのもようについて言葉と図で説明しています。その理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 言葉に関係のない図を示すことで、別のもようについての興味を高めるため。

2 二つの図を並べて示すことで、もようの移り変わりを明確にするため。

3 言葉と図を合わせて示すことで、具体的に内容を理解できるようにするため。

4 言葉と図を比べて示すことで、疑問点を明確にするため。

解答らん

※ 問題は、次のページに続きます。

四 山田さんは、「ちらし」を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていた――部ア、イを漢字に書き直すことにしました。次の――部ア、イを漢字でいいねいに書きましょう。

相手の ア このみに合わせて、もようを選び、おくることができます。

解答らん

イ あつい日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。

解答らん

2

山田さんの学級では、伝統工芸品についてすいせんするちらしを書くことにしました。山田さんは、手ぬぐいのよさについてすいせんする文章を、次の「ちらし」に書いています。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

手ぬぐい



手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。
そのよさとは、どのようなものでしょう。

よさ1 もよう

さまざまなもようがあり、すきなもようを選ぶことができます。おくり物としてもぴったりです。



季節を感じるもよう

手ぬぐいには、植物や風景をもとにしたもようがあります。季節に合わせて手ぬぐいを選ぶことができます。



しゅみやすきなものに合わせたもよう

スポーツや音楽などに関係するもようの手ぬぐいもあります。相手のアこのみに合わせて、もようを選び、おくることができます。

よさ2 使い方

手などをふくだけではなく、身に着けたり、物を包んだりすることもできます。

身に着ける使い方

イあついに、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。また、外で作業をするときに頭にかぶると、あせをきゅうしゅうし、両手が空くので仕事がしやすくなります。

物を包む使い方

手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。

このように、手ぬぐいには、いろいろなよさがあります。
みなさんもぜひ使ってみてください。

一【ちらし】

山田さんは、文章の構成をくふうして「ちらし」を書いていきます。山田さんが文章の構成をどのようにくふうしているかを説明したものととして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 読んでほしい順序を明確にして、時間の流れに沿って書いている。

2 伝えたいことの中心を明確にして、内容のまとまりごとに分けて書いている。

3 文章の筋道が整うように、原因と結果を明らかにして書いている。

4 読み手の目的に応じて読めるように、使い方の手順に沿って書いている。

解答らん

2

二 山田さんは、アの中で、手ぬぐいのもようについて言葉と図で説明しています。その理由として最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 言葉に関係のない図を示すことで、別のもようについての興味を高めるため。

2 二つの図を並べて示すことで、もようの移り変わりを明確にするため。

3 言葉と図を合わせて示すことで、具体的に内容を理解できるようにするため。

4 言葉と図を比べて示すことで、疑問点を明確にするため。

解答らん

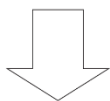
3

※ 問題は、次のページに続きます。

※ 問題は、次のページに続きます。

物を包む使い方

手ぬぐいは、いろいろな物を包むことができます。



解答らん 例

物を包む使い方

◆ 何回か折って本を包むと、ブックカバーになり、よごれがつくのを防ぐことができます。また、ペットボトルを包んで持ち運ぶこともでき、水てきが荷物につくのを防ぐことができます。

60字

100字

※◆の印から横書きで書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

- 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。
- 言葉や文を取り上げて書くこと。
- 【調べたこと】の「部を書き直し、くわしくすること。（一文でなくてもよい。）
- 【「ちらし」の「部を書き直し、くわしくすること。（一文でなくてもよい。）

〈条件〉

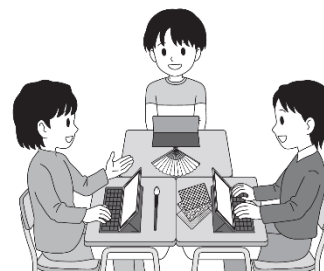
【調べたこと】

〈本を読んで分かったこと〉

- ブックカバー
 - ・ 何回か折るだけで、すぐに完成する。
 - ・ 本の大きさに合わせて包むことができる。
- ペットボトルカバー
 - ・ ペットボトルを包んで持ち運ぶことができる。

〈使ってみて分かったこと〉

- ブックカバー
 - ・ よごれがつくのを防ぐことができよかった。
 - ・ 落としたときに、本がきずつかなかった。
- ペットボトルカバー
 - ・ 水てきが荷物につかなくてよかった。
 - ・ 温かい飲み物が冷めにくかった。



三 山田さんは、【ちらし】の書き表し方について友達に相談し、【ちらし】の「部を書き直し、くわしく書いたほうがよいと考え、次の【調べたこと】を見直しました。あなたが山田さんなら、どのように書き直しますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

四 山田さんは、「ちらし」を読み返し、習っている漢字がひらがなになっていた——部ア、イを漢字に書き直すことにしました。次の——部ア、イを漢字でいいねいに書きましょう。

相手の ア このみに合わせて、もようを選び、おくることができます。

解答らん

好 (み)

イ あつい日に、水でぬらして首にまくと、すずしく感じます。

解答らん

暑 (い)